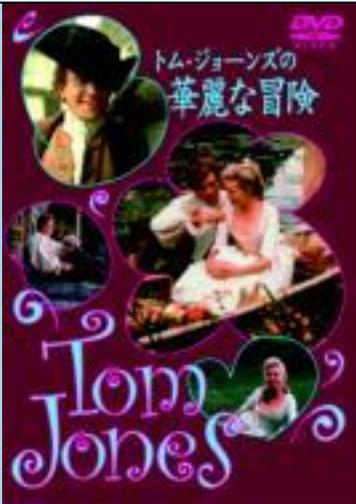


『トム・ジョーンズの華麗な冒険』 原題 <i>Tom Jones</i> 1963 年		執筆:清水 純子
制作国	イギリス	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ:監督&制作トニー・リチャードソン/脚本ジョン・オズボーン/ キャスト:アルバート・フィニー:トム・ジョーンズ / スザンナ・ヨーク: ソフィ・ウェスターン / ヒュー・グリフィス: ソフィの父ウェスターン氏 / リン・レッドグレイヴ: スーザン / ジョーン・グリーンウッド: レディ・ベラーストーン/ジョージ・ディヴァイン: トムの父オールワージー氏/	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	127 分	
ストーリー	<p>サマセットシアの地主オールワージーは、ベッドに捨てられた赤ん坊をトム・ジョーンズと名づけ、養子にする。オールワージーの妹ブリジエットは、未亡人になって息子ブライフィルを連れて兄のいる実家に戻る。トムとブライフィルは一緒に育つが、トムはお茶目で勇気あるハンサムな青年に成長する一方、ブライフィルは陰険で姑息な若者になる。近所の地主ウェスターンの美人の一人娘ソフィを巡って二人はライバルになり、ブライフィルは、トムの女好きを利用して罠にかけ、ロンドンに去ったトムには絞首刑が待つ。ところがトムは結婚前のブリジエットの私生児、つまりオールワージー氏の実の甥であることがわかる。刑場で首に縄をかけられたトムは、馬によって救出される。ブライフィルの悪事は露見して、トムは正式な跡取りとして認められ、ソフィと結婚する。</p>	
時代設定	18 世紀	
場所	イギリス	
社会背景	<p>繁栄する大英帝国、資産ある貴族階級が君臨する 18 世紀イギリス、有産階級と無産階級の貧富の差。</p>	
文化的背景	<p>都市と田園の対比、都市の貧困とスラム化、犯罪都市ロンドン、貴族階級の縁組は資産しだい、家父的父権主義、結婚の枠組みの外の男女関係の社会的複雑さ。</p>	
使用言語	英語	
テーマ	<p>18 世紀イギリス貴族社会の寵児トム・ジョーンズの波乱に満ちた生き様をピカレスク(悪漢)小説の形式で、貴族と庶民双方を風刺的にユーモラスに描く。</p>	

みどころ	息をつかせない物語の展開、トム・ジョーンズのユーモラスで胸躍る冒険の数々とロマンス、美しく優雅な貴族階級の裏側、世界一の都市だったロンドンの町の猥雑さと貧困、犯罪都市ロンドンの暗黒面、階級間の移動。
印象深いせりふ	(in silent mode) In the west of England there was once a Squire Allworthy. After several months in London he returns home, his sister Bridget, his servants. after supper. “Mrs. Wilkins!” “aaah!” “a baby!” “abandoned!!!!” “how did it get here?” “who can the mother be?” “Jenny Jones!” “who is the father Jenny?” “send for Partridge the barber!” “Partridge the barber—the father?” “I will deal with you later, sir!” “you must be sent away from this shame and degradation.” “as for you child.” “I will bring him up as if he were my own son.” “what will you call him brother?” “Tom Jones.” of whom the opinion of all was that he was born to be hanged.
授業教材用 メリット	18世紀イギリス・ロンドンの社会、風俗、モラルがよくわかる、軽妙でテンポの速い展開が痛快、ユーモラス、本場のイギリス英語が聞ける、英文学史上名高い小説の映画化、原作の筋に忠実な映画化。
授業教材用 デメリット	映像入手がむずかしい(DVD、VHS 共に絶版で日本では高価な中古しか手に入らない、2015年時点)
映像入手元	紀伊國屋書店
原作の有無	ヘンリー・フィールディング著 『トム・ジョーンズ』
支持反応	Rotten Tomatoes 評価(批評家 83、観客 60)
キーワード	イギリス、ロンドン、都市、貴族、階級、犯罪、強盗、決闘、捨て子、養子、不倫、年金、結婚、ロマンス、好色、世間体、縛り首、ピカレスク小説、家父長制、宿屋。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。